



地域に誇れる 学校づくりを みんなで 話し合おう

2014.3.20 発行

発行・お問合せ／和光市教育委員会事務局学校建設準備室 〒351-0192 和光市広沢1-5 電話 048-424-9144 FAX 048-464-7901 編集・ワークショップ運営／株式会社 松田平田設計



第2回ワークショップ開かれる

学校のことを議論すると地域の未来が見える

長澤悟教授が講演

3月12日午前10時から坂下公民館で、第2回ワークショップが全委員が出席のなかで開かれました。冒頭、林野庁・文科省の研究会座長や全国各地の学校づくりに携わっている東洋大学工学部教授の長澤悟氏が、東日本大震災の復興の様子や全国各地の複合化事例の学校を紹介されました。

岩手県大船渡市では、3年経っても津波被害から復興した学校は一つもなく、設計が終わり建設にかかった状態で、早くても平成28年3月完成予定。学校が出来ても子どもたちが戻ってくるか地域の人は心配である。自身の住宅のことを議論すると中身も広さも違い、皆さん辛い状況もあるが、そこに参加さ

れた皆さんは『学校のことを議論すると、地域の未来が見える、子どもと書いて「みらい」と読む、そういう感じを持っている。』と話している。『3.11以後、今までどおりではなく、学校がこう変わったというのを伝えたい。関東大震災の後に学校の校舎が鉄筋コンクリートに変わったように』と自らの思いを話されました。

その他にも東京都青ヶ島、福島県三春町、志木小学校、品川区戸越小学校、新潟県聖籠町な全国各地の特色ある複合化事例の学校を紹介され、議論のきっかけとなるお話をいただきました。



学校づくりの講演を聞くメンバー

このあと、テーマB「保育クラブ・児童館のあり方」と、テーマC「市民広場・パークアベニューと防犯・防災のあり方について」について、市役所こども福祉課の富澤さんと、同危機管理室の白川さんからの現状説明を受け、各グループに別れて議論をしました。

ワークショップ 1

共通テーマB

「学校に併設される保育クラブ・児童館への要望と課題を考えよう」

3グループで要望(表内○)と課題(表内☆)について話し合いました。

グループA

<あり方>

- 地域コミュニティの核となる施設にしてほしい
- 保護者が情報交換できる場を設けてほしい
- 福祉教育につながるように異世代交流の場としてほしい

<スペース>

- 屋内運動場を放課後・休日等の時間指定で開放してほしい
- 多目的室を時間指定で児童館事業で活用できるようにしてほしい
- グラウンド、市民広場を保育クラブ・児童館の児童が使えるようにしてほしい
- 駐車場送迎スペースを十分確保してほしい

- ☆保育クラブ・児童館がグラウンド、市民広場を使用できる時間帯をどう設定するか?
- ☆保育クラブ・児童館がグラウンド、市民広場を使用できる時間帯の調整はどの主体が行うか?

- 保育クラブ・児童館の相互管理により日曜保育等の利用可能時間を拡大してほしい
- 保育クラブと児童館の管理を一元化し、運営委員会の設置を検討してほしい

<ソフト>

- 保育クラブ・児童館の相互管理により日曜保育等の利用可能時間を拡大してほしい
- 保育クラブと児童館の管理を一元化し、運営委員会の設置を検討してほしい

グループB

<あり方>

- 乳幼児・小学生・中高生がそれぞれ安全に遊べる施設にしてほしい

<スペース>

- 乳幼児・小学生・中高生がそれぞれ安全に遊べるスペースの区分けをしてほしい
- 幼児サークルで現状と同じく休日に屋内運動場を利用したい
- 屋内運動場を平日も乳幼児と保護者が利用できるようにしてほしい
- グラウンドを保育クラブ・児童館が利用できるようにしてほしい
- 児童館のスペースを広くしてほしい
- 児童館に授乳室、乳幼児コーナー、乳幼児トイレを設置してほしい

- 児童館の中でおやつや食事を食べられるスペースがほしい
- 駐車場、駐車を広く確保してほしい
- ☆年齢層別(乳幼児・小中高生)の利用空間の設定と交流空間の調整をどう行うか?

- 児童館の中でおやつや食事を食べられるスペースがほしい
- 駐車場、駐車を広く確保してほしい

<ソフト>

- 下新倉地区の地域のお祭りや自治会の地域交流も継続して行えるようにしてほしい
- 放課後子供教室と連携した運営をしてほしい
- 学校図書室の放課後活用を検討してほしい

グループC

<あり方>

- 0歳~18歳までが平等に自由に楽しめる施設にしてほしい
- 卒業後の児童も集える地域コミュニティの核となる施設にしてほしい
- 地域の高齢者が集える世代間の交流の場にしてほしい

<スペース>

- 小・中・高校生が幼児に気兼ねなく利用できるようにスペースや時間帯等で分けてほしい
- 保育クラブ・児童館が市民広場も遊び場に使えるようにしてほしい
- 多目的室は自由に年代問わず、児童館事業で活用可能にしてほしい
- 赤ちゃん連れの利用者のために畳敷きのスペースがほしい
- 児童館に図書スペースを設置してほしい

- ☆保育クラブ・児童館の一体利用をする場合、複数の年齢層の混在に対してどう安全性を確保するか?

<ソフト>

- 時間指定で屋内運動場、多目的室を利用できるようにしてほしい
- 屋内運動場の放課後の開放は放課後こども教室との兼ね合いを調整してほしい
- 幼児クラブと保育クラブの使い分けを検討してほしい。
- 図書館分館を保育クラブ、児童館が利用できるようにしてほしい
- 世代間交流のつなぎ役としてコーディネーターを配してほしい
- ☆学校開放施設(屋内運動場・多目的室)の開放時間帯をどう設定するべきか?

ワークショップ 2

共通テーマC

「学校に併設される市民広場・パークアベニューと防犯・防災への要望と課題を考えよう」

グループA

<あり方>

- グラウンドが防犯、防災の拠点であり、市民広場はその補完的な役割を担う方がよい
- 市民広場から図書館へ外階段でアクセス可能にしてほしい

<スペース>

- 市民広場に面して家庭科室、視聴覚室を設けて地域活動時に使えるようにしてほしい
- 市民広場から利用できる給湯室、屋外水栓を設置してほしい
- 市民広場は模擬店が設置できるように広くデッキスペースを設けてほしい
- ☆地域交流の場としての市民広場は樹木配置・床の仕上げをどうしたら良いか?

<ソフト>

- 市民広場は児童の安全を配慮して時間帯指定で開放してほしい
- 市民広場は図書館分館や児童館と共同のイベントを行えるように開放してほしい
- 子供と共に清掃活動のボランティアを行えるようにしてほしい
- 市民広場・パークアベニューの管理を行う運営母体の設置を検討してほしい
- ☆市民広場・パークアベニューの管理運営母体は?

<セキュリティ>

- 市民広場の利用は事前登録制とし、登録者のみ自由に利用できる仕組みにしてほしい

グループB

<あり方>

- 地域交流事業を行えるようにしてほしい
- 世代間交流の場として使用できるようにしてほしい
- 市民広場は保育クラブ・児童館の児童が利用できるようにしてほしい

<スペース>

- 災害時に活用できるマンホールトイレやかまどベンチを設置してほしい
- パークアベニューへ安全にアクセスできるように出入口の位置等を検討してほしい
- 水害時にも機能するように市民広場を整備してほしい

<ソフト>

- 市民広場は見通し良く開放的な場所にしてほしい
- 市民広場・パークアベニューは防犯面を考慮し見通しの良い樹種を選定してほしい
- 周辺は夜間暗いため街灯等を設置する等、検討してほしい
- 安全確保のため警備員を配置してほしい

<セキュリティ>

- 市民広場を開放的にしつつ、セキュリティ確保してほしい
- ☆市民広場の管理上の区分け(フェンス・植栽)をどうしたら良いか?

グループC

<あり方>

- 異世代交流の場として使用できるようにしてほしい
- 地域の人が散歩で立ち寄れる市民の憩いの場としてほしい
- 市民広場は保育クラブ・児童館の外遊びに利用可能にしてほしい

<スペース>

- 多目的室に調理設備を設けて、交流事業に使えるようにしてほしい
- 市民広場にシンボルツリーや果実のなる木を植えてほしい
- 池(ピオトーブ)を設けて子供の教育の場にしてほしい

<ソフト>

- 市民参加型の植栽維持管理を行い、地域交流を行えるようにしてほしい
- パークアベニューの植樹は死角をなくし、不審者の隠れ場所とならない計画にしてほしい
- パークアベニュー・市民広場の維持管理を地域で行うことで大人の目があるようにしてほしい
- 市民広場はバリアフリー対応してほしい

<セキュリティ>

- 時間指定で門の開閉により開放を制限する計画としてほしい
- 夜間は中高生のたまり場になるので市民広場は時間指定で開放してほしい
- 市民広場は地域開放施設の管理部門を通過した者が利用できる計画とし、可能な限り常時開放してほしい
- 防犯カメラの設置を検討してほしい
- ☆市民広場の開放制限はどうしたら良いか?(時間制限、利用者制限等)

